

## ご寄附の申込方法

## ▶ 金融機関での振込によるご寄附

## ・本学基金口座に直接振込

金融機関の窓口、ATM、インターネットバンキング等から、下記指定口座に直接お振込みください。  
(振込手数料のご負担をお願いいたします。)

なお、お振込みの前に「東京海洋大学基金寄附申込書」(本学基金HPを参照)をご記入の上、E-Mail、FAXまたは郵送にて基金渉外課にお送り願います。

金融機関	口座名義	口座番号
みずほ銀行(品川支店)	国立大学法人東京海洋大学	普通預金 1563648
ゆうちょ銀行	東京海洋大学基金	00150-1-566724



金融機関振込

## ・本学指定の払込取扱票を使用した振込

本学指定の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行又は郵便局でお振込みください。

(振込手数料は無料です)

払込取扱票をご希望の方は、必要書類をお送りいたしますので、基金渉外室までお問い合わせください。

## ▶ オンライン決済によるご寄附

<クレジットカード決済 コンビニ決済 Pay-easy決済>

本学基金HPからお申込みください。(振込手数料は無料です)

※お申込みいただいた寄附金の領収日は、申込日ではなく、決済代行会社から本学に寄附金が入金された日となりますのでご注意ください。



オンライン決済

## ▶ 現物や遺贈制度によるご寄附

有価証券等の現物や遺贈制度による寄附もお受けさせていただきます。事前に、基金渉外室にご相談ください。

※ 基金の管理運営の円滑化等のために、管理費として寄附金受入額の10%を充てさせていただきます。

## 税制上の優遇措置

東京海洋大学へのご寄附には税制上の優遇措置が適用されます。後日お送りする寄附金領収書、控除証明書を確定申告書に添付し、所轄税務署へご提出ください。

## ■ 個人の場合

<所得控除> 寄附した年の総所得金額等の合計額から控除を受けることができます。

<税額控除> 「修学支援事業基金」「研究等支援基金」へのご寄附の場合のみが対象となります。

※所得控除又は税額控除のいずれか一方の有利な制度を選択していただけます。

## ◇ 住民税

寄附をした翌年1月1日時点で東京都、港区にお住まいの方は、寄附の翌年の個人住民税の寄附金税額控除を受けることができます。

## ■ 法人の場合

寄附金の全額を損金算入することができます。

税制上の優遇について  
詳しくはこちらへ →



## 領収書の発行について

本学が寄附金の入金を確認した日の翌月に「寄附金領収書」を発行いたします。

## ご寄附への謝意 (希望者のみ)

## ● ご芳名の掲載

ご芳名を本学ホームページに掲載し、末永く歴史に刻まさせていただきます。

## ● 感謝状の贈呈

寄附累計額が10万円以上の皆様に感謝状を贈呈いたします。

## ● 銘板への掲示

寄附累計額が30万円以上の皆様につきまして、寄附者銘板にご芳名を記し、顕彰させていただきます。銘板は品川キャンパス・越中島キャンパスに設置しております。

## ● 感謝の集いイベントへのご招待

本学が平成23年に「東京海洋大学基金」を設立して以来、一定額(累計30万円)以上の寄附をいただいた方々をお招きして、直接謝意をお伝えする「感謝の集い」にご招待いたします。

## 東京海洋大学基金 ご寄附のお願い

## 学長挨拶 ~海洋、その先の未来へ~



国立大学法人東京海洋大学長

井関俊夫

皆様には、日頃より東京海洋大学へご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京海洋大学は、昨年10月1日に創立20周年を迎えました。

「海を知り、海を守り、海を利用する」をモットーとして、我が国が海洋立国として発展していく中心的な役割を果たすべく、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行って来ました。

その歴史において、平成23年に設置された「東京海洋大学基金」の支援により、優秀な学生への修学支援をはじめ、課外活動や学生ボランティアへの支援を力強く実施することができました。

コロナ禍の3年半を振り返れば、大学運営上初めて経験する緊急課題が次々と現れ、その全てに対して総力を挙げて対処して参りました。修学が困難となった学生に対しては、授業料の免除や徴収猶予等の措置をとると共に、皆様からのご寄附を財源とする給付型奨学金や日本学生支援機構と連携した各種経済的支援を行うことができました。改めまして、心より感謝申し上げます。

厚生労働省によれば、令和5年の国内出生数は72万6千人であると予想されており、令和4年に続いて過去最少を更新する見込みであると報道されています。予想を上回る急速な少子化と人口減少に対して、内閣総理大臣を議長とする「教育未来創造会議」では、「日本の社会と個人の未来は教育にある」を基本理念として、これまでに2回の提言を行ってきました。大学の高等教育機関に対してはデジタル、人工知能、脱炭素など、成長分野をけん引する高度専門人材の育成が期待されています。

東京海洋大学においても、大学院まで進学し、未来を支える人材となることを目指す学生達を支援したいと思っております。

そのためにも、「東京海洋大学基金」の事業を継続・発展させていくことは必要不可欠であると考えられます。今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東京海洋大学基金HP



東京海洋大学HP

## お問い合わせ先

国立大学法人東京海洋大学 基金渉外室

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 TEL : 03-5463-4279

E-mail : ef-kikin@o.kaiyodai.ac.jp FAX : 03-5463-0359



東京海洋大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



# A. 一般基金

目的指定をせず、大学全体のために活用します

# B. プロジェクト基金

プロジェクトごとに、  
寄附金の使途を指定して募集します

# 寄附メニュー



寄附メニュー

## 6. その他



### 1. 大学プロジェクト

キャンパス再開発など、大学ビッグプロジェクトとして大学全体で推進していく事業に活用します。



### 5. 課外活動等プロジェクト

学生が運営する大学公認の課外活動等を支援します。



### ① 明治丸海事ミュージアム事業

重要文化財「明治丸」を含む明治丸海事ミュージアムの事業を支援します。

## 2. 修学支援・研究等支援プロジェクト※税額控除対象



### ① 修学支援プロジェクト (修学支援事業基金)

経済的理由で修学を断念することのないよう学生への積極的な支援を行います。  
また、学業を継続することが困難となった学生への緊急支援を行います。



### ② 研究等支援プロジェクト (研究等支援基金)

学生又は不安な雇用状態にある研究者が学会等への参加に要する旅費の支援、論文の刊行に要する費用等、研究活動の支援を行います。



### ② マリンサイエンスミュージアム事業 (雲鷹丸修復事業含む)

登録有形文化財「雲鷹丸 (うんようまる)」を含むマリンサイエンスミュージアム事業を支援します。



### ③ 附属図書館整備充実

本学の学術情報基盤である附属図書館の整備充実を支援します。



### ④ 海洋生命科学部及び海洋資源環境学部 学術研究奨励基金

品川キャンパス両学部における国際交流等に活用する基金の充実を支援します。



### ⑥ 水圏科学フィールド教育研究センター保全支援基金

学生の実習場である水圏科学フィールド教育研究センターの各ステーションの保全等を支援します。



### ⑦ 海洋工学部国際交流基金

海洋工学部における国際交流等に活用する基金の充実を支援します。



### 3. グローバル教育支援プロジェクト

グローバル人材の育成に資する取組みや外国人留学生支援等を通じた大学のグローバル化に活用します。



### 4. 学部・研究科等プロジェクト

特定の学部又は研究科や組織を支援していく事業に活用します。

- ① 海洋生命科学部
- ② 海洋工学部
- ③ 海洋資源環境学部
- ④ 海洋科学技術研究科



### ⑤ 卓越大学院プログラム教育基金

大学院の5年一貫教育プログラム「海洋産業AI プロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」を支援します。



### ⑧ 本学練習船による海洋人材育成支援事業基金

本学練習船を利活用した海洋人材育成に関する教育・研究環境の維持、充実を支援します。